

事務事業評価シート(平成21年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名		担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名			
06006	町道整備事業		建設水道課	建設工務係	増澤 秀行	西原 功			
	一次評価年月日	平成 22 年 6 月 30 日	連絡先(内線)	2163					
事務事業実施の根拠・位置づけ	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)					
	☒	一般	☐	特別	0807	道路新設改良事業			
	☒	一般	☒	特別	0809	道路舗装事業			
	章		(コード選択)	3章	夢のある地域形成				
	節		(コード選択)	3節	町の活動を支える交通体系を整備する				
	項[基本施策]		(コード選択)	331	道路網の整備				
	主な取り組み		(コード選択)	3311	町道の整備(新設・改良・舗装工事)				
関連する計画等への位置づけ		☐	第四次行財政改革大綱	☒	3ヶ年実施計画	☐	主要業務報告	☐	その他
事務期間		(開始)	17 年度 ~ (終了予定)	年度	L	開始時期不明	☒	終期設定なし	

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

町道

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

利便と安全を図る

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 道路の拡幅を行う
- 道路の改良・修繕を行う
- 道路の舗装を行う
- 舗装道路の打ち換え、修繕を行う

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値	最終目標年度		
		20年度	21年度	22年度(見込み)	23	年度(見込み)	
①	指標名	改良等の箇所	箇所	9	8	8	11
	説明	拡幅改良修繕を行った箇所数	目標値設定の根拠	前年度実績から見込む			
②	指標名	舗装新設等の箇所数	箇所	11	15	14	10
	説明	舗装の新設修繕を行った箇所数	目標値設定の根拠	前年度実績から見込む			

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値	最終目標年度		
		20年度	21年度	22年度(見込み)	23	年度(見込み)	
①	指標名	改良等箇所進捗率	%	37	56	74	100
	説明	5ヶ年目の目標43箇所に対する年度進捗率を示す。	目標値設定の根拠	前年度実績から見込む(累計)			
②	指標名	舗装新設等の箇所数	%	35	60	83	100
	説明	5ヶ年目の目標60箇所に対する年度進捗率を示す。	目標値設定の根拠	前年度実績から見込む(累計)			

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法

☒

決算書・予算書等に記載の数字

☐

按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度																
			決算	決算	見込み	見込み																
		(千円)	34,820	40,498	47,443	47,493																
対前年比		%		116.3	117.1	100.1																
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		(千円)	4,426	3,952	5,269	5,276																
B) 一般財源(税金)		(千円)	30,394	36,546	42,174	42,217																
①事業費		(千円)	27,341	33,036	39,950	40,000																
対前年比		%		120.8	120.9	100.1																
②人件費の概算		(千円)	7,479	7,462	7,493	7,493																
対前年比		%		99.8	100.4	100																
			課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費											
			H21	H22	H23	H21	H22	H23	H20	H21	H22	H23	/	/	/	/						
町職員(正規職員)			0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.41	0.41	0.41	0.62	0.62	0.62	1.04	1.04	1.04	1.04	7,479	7,462	7,493	7,493
臨時職員			人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート									0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある C 今後可能性はない 道路維持事業(補修及び工事)
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している C 把握していない 各区からの要望、現地立会いにより把握に努めている。

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

継続事業の早期完成に務め投資効果を図る。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

22年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

道路の維持管理面に遅れが目立つ、老朽化を少しでも改善するため事業費の拡充を図る。

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック

A. 貢献度 大
 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

町道の改良、舗装の要望箇所は多いが、緊急度の高いものから実施。今後も事業費の増が必要。

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

a 上記 a~e を選択